



【戦評シート】

平成 17年 5月 5日(木)	協会名： 能代市 バスケットボール協会
場 所：能代市総合体育館	記入者：松橋 亨
チームA 岡山県選抜 5 6	チームB 市立船橋

}	9 3
---	-----

スターター	チームA： 8, 11, 12, 17, 18
	チームB： 5, 7, 8, 11, 15
ディフェンス (試合開始時)	チームA： マンツーマン ゾーン() その他() チームB： マンツーマン ゾーン() その他()

岡山県選抜、市立船橋ともマンツーマンディフェンスでスタート。試合開始早々互いにシュートを放つが決まらず、市立船橋 高橋のジャンプシュートが決まったところでゲームが動き出す。岡山県選抜 朴がすぐにジャンプシュートで入れかえしたが、その後市立船橋 梁瀬、中山らが次々と得点し、4分経過したところで11 - 4とリードし、ゲームの主導権を握る。岡山県選抜は、竹原が速攻からのシュートを2本決めるが、市立船橋は6分経過したところで先発メンバー5人を総入れかえし、残り4分で 中村がポストプレーなど一人で8点をあげる活躍。結局第1Qは、市立船橋が25 - 13の12点リードで終了。

第2Qは、序盤、岡山県選抜が 藤田のジャンプシュートや 平石の3ポイントなどが決まり、3分経過したところで23 - 28と5点差まで詰め寄る。しかしこの後市立船橋は、石田、高橋の速攻、中山のポストプレーなどで次々と得点し、7分経過したところで40 - 25と突き放す。また、第2Q終了間際にも 高橋のジャンプシュートなどで加点。前半は、市立船橋が45 - 27とリードを18点に広げて終了。

第3Qは、開始早々から市立船橋 福田のジャンプシュートや 中村のポストプレーが次々と決まり、3分経過したところで53 - 27と試合の大勢がほぼ決まってしまった。結局、このQも10分間安定して得点を重ねた市立船橋が73 - 39とさらに差を広げて終了。

第4Qに入り、市立船橋は控え選手からのスタート。序盤の3分間は互いに得点の入れ合いが続いたが、中盤、岡山県選抜 藤原のゴール下、藤井のカットインなどが連続して決まる。しかし、このQも終盤 神の3ポイントなど安定して得点を重ねた市立船橋が93 - 56で快勝した。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。